

いつもお世話になっております。ファクスお借りして恐縮です。ご発注よろしくお願いたします。  
書肆心水 FAX 042-680-9212

# 大学と政治

近代日本の大学の自治、その建設と破壊

瀧川幸辰 四六判上製 本体6300円+税

## 学問を権力・財力・俗論から守る

理念とその実践者たち——大学の自治をめぐる戦いのドラマ

学問の自由（憲法第23条）の核心。大学の理念は帝国大学時代から進歩しているのか、後退しているのか。京都帝大法科の精神と **瀧川事件** のあとさき。死して生きる道の記録。（大学と政治のテーマでの集成企画）

瀧川幸辰（たきかわ・ゆきとき／1891-1962）刑法学者。1915年、京都帝国大学独法科卒。1918年、京都帝国大学法科大学助教授就任。刑事法学担当。1924年、京都帝国大学法科大学教授就任。1933年、著書『刑法読本』や講演が危険思想とされて休職処分を受け退官（瀧川事件＝京大事件）。立命館大学講師、弁護士として活動。1946年、京都帝国大学教授に復職。法学部長と総長を歴任。日本刑法学会初代理事長。日本学士院会員。主著、『刑法講話』、『犯罪論序説』等。罪刑法定主義を強調する立場と犯罪の根源は社会にあるという思想を結びつけた刑法理論を主張。

### I 近代日本の大学と自治 [エッセイと式辞]

大学の自治／大学の自己主張／死して生きる道／責任と義務／研究の自由／大学の自由と政治的行動／最高学府の性格／自由と責任／京都大学創立六十年

### II 研究の自由——いわゆる京大事件 [1957年発表]

まえがき／『復活』事件（一九三二年）／『刑法読本』問題（一九三三年）／客観主義の刑法／或るエピソード／辞職勧告（一九三三年四月）／大学の自治／澤柳事件（一九一三年）／研究の自由／「暗黒時代」／あいまいな罷免理由／附記

### III 激流 [1963年発表]

1 いわゆる「瀧川事件」の発端／中央大学での『復活』講演／草野さんの「瀧川幸辰氏に糾す」／新城総長の言動／「糾す」問題の結末／鳩山文相の車中談／国会での思想問題／BK放送での大審院判決批評／宮澤裕議員、『刑法読本』を問題視／客観主義刑法理論／『刑法読本』と大畑さん／シナ服がけしからん／ある長老教授の不可思議な発言（以下2～9）

新刊  
注文扱返条付  
清藤

番線等 部	<b>大学と政治</b> 近代日本の大学の自治、その建設と破壊 瀧川幸辰 ISBN978-4-910213-49-1 C0021 四六判上製 352頁 本体 6300円+税	五 月 中 旬 刊
	FAX 042-680-9212 <a href="https://shoshi-shinsui.com">https://shoshi-shinsui.com</a>	<b>書肆心水</b> Shoshi Shinsui

※初回配本分のご返品はご面倒ですが一年以内めどにお願い申し上げます

ご注文は JRC へ 03-3294-2177

すべての取次への出荷が可能です。返品は版元指定の期間内で長期にお受け致します。（了解者 JRC 宮尾）